

研究対象者等に通知し、又は公開すべき事項（情報公開用）

申請番号： 17-193

- ① 試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）
 - ・ 研究課題名：成熟 T/NK 細胞腫瘍の組織型別予後の検討
 - ・ 目的：成熟 T/NK 細胞腫瘍は、多くのサブタイプが存在するが、末梢性 T 細胞性リンパ腫が最も多く、PTCL 非特異型 (PTCL-NOS)、血管免疫芽球性 T 細胞リンパ腫、未分化大細胞型リンパ腫 (ALCL, ALK 陽性/陰性) の 4 病型の頻度が高い。これらに対する治療は通常標準的 CHOP 療法を行うが、ALK 陽性 ALCL の 5 年無増悪生存率 (progression free survival, PFS) は 60% と非常に良好であるが、それ以外のサブタイプは 5 年 PFS 30% 未満と不良である。今回当院における成熟 T/NK 細胞腫瘍の患者背景、予後を解析することで治療レジメンの選択順や、移植療法を組み合わせた治療戦略を考えることが可能になる。
 - ・ 研究期間：2017年12月13日～ 2020年 12月31日
 - ・ 研究対象：2007年4月1日から2017年10月31日
 - ・ 埼玉医大国際医療センターを受診した成熟T/NK細胞腫瘍を対象とする。

- ② 利用し、又は提供する試料・情報の項目
 - ・ 患者背景(年齢, 性別, PS, 合併症)
 - ・ 臨床検査所見(LDH, CRP, 可溶性 IL-2 レセプター, 他の腫瘍マーカー)
 - ・ 画像所見(CT, FDG-PET, 超音波等)
 - ・ 病理所見(リンパ節生検等)
 - ・ 治療成績(CT, FDG-PET による治療効果の判定)
 - ・ 有害事象

- ③ 利用する者の範囲
研究実施責任者
埼玉医科大学国際医療センター 造血器腫瘍科 准教授 高橋直樹
研究者
埼玉医科大学国際医療センター 造血器腫瘍科 准教授 高橋直樹
埼玉医科大学国際医療センター 造血器腫瘍科 准教授 塚崎邦弘
埼玉医科大学国際医療センター 造血器腫瘍科 助教 郡 美佳
埼玉医科大学国際医療センター 造血器腫瘍科 教授 麻生範雄
埼玉医科大学国際医療センター 造血器腫瘍科 助教 阿久澤 有

- ④ 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称
研究実施責任者
埼玉医科大学国際医療センター 造血器腫瘍科 准教授 高橋直樹